

4.

国際研究ネットワーク

- 1) 国際的な共同研究・研究交流
- 2) INTPART プロジェクト
- 3) 国内外招聘研究者一覧

1) 国際的な共同研究・研究交流

■ジェンダー研究所所属の研究者が2022年度に研究交流または共同研究をした海外の研究者

海外研究者氏名	所属機関（職位）
黄長玲	国立台湾大学（教授）
楊婉瑩	台湾国立政治大学（教授）
Soo-hyun Kwon	韓国ジェンダー政治研究所（研究委員）
Jiso Yoon	韓国女性政策研究院国際協力センター（センター長）
Devin K. Joshi	Singapore Management University（准教授）
日下部京子	アジア工科大学院大学（AIT）（教授）
Jean Encinas-Franco	フィリピン大学（教授）
Jan Robert Go	フィリピン大学（准教授）
Ella Syafputri Prihatini	ビナ・ヌサンタラ大学（講師）
Ummu Atiyah Ahmad Zakuan	ウタラ マレーシア大学（講師）
Sara Niner	モナシュ大学（講師）
Therese Thi Phuong Tam Nguyen	東ティモール国立大学（教授）
Syeda Lasna Kabir	ダッカ大学（教授）
Aashiyana Adhikari	Center for South Asian Studies（Research Officer）
Ruwanthi Jayasekara	Institute of National Security Studies（Associate Research Fellow）
Lucetta Y. L. Kam	香港浸會大学（准教授）
鐘仁耀	華東師範大学（教授）
李晶	華東師範大学（副教授）
張繼元	華東師範大学（講師）
王橋	中国社会科学院（研究員）

■ジェンダー研究所所属の研究者が研究交流・共同研究をしている海外の研究機関

アジア工科大学院大学（AIT）環境資源開発研究科「ジェンダーと開発」専攻

【担当】日下部京子（AIT 教授）、申琪榮（IGS 教授）、嶽本新奈（IGS 特任講師）

【共同研究・研究交流の概要】

本学ジェンダー社会科学専攻院生の AIT 派遣、AIT 院生の日本でのフィールドワーク受入による交換研修プログラム「AIT ワークショップ」は、新型コロナウイルス感染症拡大のため 2020、2021 年度実施できなかったが、今年度は派遣、受入れ共に再開できた。（本報告書 62 頁参照）。

ノルウェー科学技術大学（NTNU）ジェンダー研究センター

【担当】石井クンツ昌子（お茶の水女子大学理事・副学長／グローバル女性リーダー育成研究機構長）、戸谷陽子（IGS 所長）、小玉亮子（IGS 研究員）、仙波由加里（IGS 研究協力員）、吉原公美（お茶の水女子大学リエゾン・URA センターリサーチ・アドミニストレーター）、佐野潤子（IGS 研究協力員）ほか

【共同研究・研究交流の概要】

ノルウェーリサーチカウンシルの国際共同研究助成金 INTPART による共同プロジェクト（2019 年 4 月～2023 年 9 月）により、共同研究、研究者および大学院生の相互派遣、国際シンポジウム・セミナー・ワークショップ開催などの事業を展開。ノルウェー高等教育・技能局（HK-dir）の UTFORSK 助成金プロジェクト（2021 年 8 月～2025 年 7 月）とバーチャル・エクスチェンジ／COIL パートナーシップ・イニシアチブ（2023 年 3 月～12 月）の活動も並行して実施している。2022 年度は、6 月に学生フォーラムを開催、11 月に日本学術振興会ノルウェー Alumni 主催ウェビナーにて共同プロジェクト成果について発表したほか、2 月には院生派遣を再開し、博士後期課程院生 1 名がノルウェーに渡航した（本報告書 56 頁参照）。

韓国女性政策研究院

【担当】申琪榮（IGS 教授）

【共同研究・研究交流の概要】

2021 年 9 月 1 日～30 日まで Visiting Scholar として招聘を受ける。同院開催の国際フォーラムにキーノートスピーカーとして登壇したほか、研究プロジェクトに関する諮問など、各種の研究プロジェクトに参加した。

韓国ジェンダー政治研究所

【担当】申琪榮（IGS 教授）

【共同研究・研究交流の概要】

当研究所理事を務める。2016 年～2018 年に韓国研究財団から助成金を受託し、共同研究を実施。研究課題は「議会内政治的的代表性の性差に関する公式・非公式的制度要因分析：韓国・日本・台湾比較分析」。2022 年度も当該研究所の共催イベントに登壇した。

ソウル大学日本研究所

【担当】申琪榮（IGS 教授）

【共同研究・研究交流の概要】

学術雑誌『日本批評』海外編集委員を務める。

■ジェンダー研究所所属の研究者が研究交流・共同研究をしている海外の研究機関

コンラート・アデナウアー財団シンガポールオフィス

【担当】申琪榮（IGS 教授）

【共同研究・研究交流の概要】

コンラート・アデナウアー財団のシンガポールオフィスが支援する共同研究プロジェクト「Substantive Representation of Women Parliamentarians and Gender Equality in Asia: A Comparative Study」に共同研究者として参与した。研究成果は書籍 Substantive Representation of Women in Asian Parliaments として 2022 年 8 月に Routledge 社から出版された。2022 年 11 月には財団主催の Caucus に参加し共同研究の内容を女性議員らと共有した。

西江大学社会科学研究所

【担当】申琪榮（IGS 教授）

【共同研究・研究交流の概要】

『社会科学研究』編集委員

釜山大学女性学研究所

【担当】申琪榮（IGS 教授）

【共同研究・研究交流の概要】

『女性学研究』編集委員

イギリス政治学会学術雑誌 *Politics*

【担当】申琪榮（IGS 教授）

【共同研究・研究交流の概要】

Politics 編集委員

華東師範大学

【担当】大橋史恵（IGS 准教授）

【共同研究・研究交流の概要】

科研費国際共同研究加速基金（国際共同研究強化 B）「人民公社期の中国農村における生活秩序の変化とジェンダー」の分担者として現地研究者との協力において調査を実施している。

中国社会科学院

【担当】大橋史恵（IGS 准教授）

【共同研究・研究交流の概要】

科研費国際共同研究加速基金（国際共同研究強化 B）「人民公社期の中国農村における生活秩序の変化とジェンダー」の分担者として現地研究者との協力において調査を実施している。

【国内外関連研究会】

- 政治代表におけるジェンダーと多様性研究会（Women and Diversity in East asian political Representation (WondeR)）（申）
- 日本政治学会「ジェンダーと政治」研究会（申）
- 日本政治学会 年報政治学「コロナとジェンダー特集」研究会（申）
- 国際移動とジェンダー研究会（大橋）
- 経済理論学会分野別分科会・ジェンダー（大橋）
- 国内の女性学・ジェンダー研究センターとのネットワーク
ジェンダー関連学協会コンソーシアムへの参加 ほか

2) INTPART プロジェクト

国際比較研究とその最新成果を研究教育に応用する国際共同事業

■概要

ノルウェーリサーチカウンスルの国際共同研究助成金 International Partnerships for Excellent Education, Research and Innovation (INTPART) による、Norway-Japan: Bridging Research and Education in Gender Equality and Diversity (NJ_BREGED) プロジェクト。ノルウェー科学技術大学 (NTNU) のジェンダー研究センターと IGS とで、2019 年 4 月～2023 年 9 月の期間、教員・研究者・院生の相互派遣および、ノルウェーと日本のジェンダー平等についての比較研究、セミナーやワークショップの開催などを進め、共同研究の成果を書籍として刊行。

■プロジェクト構成（相互に連携する 6 つのワークパッケージ (WP)）

WP1 プロジェクト管理：NTNU とお茶大の代表が高水準の生産性と創造性を担保。

WP2 在外研修：両大学の院生、教員、研究者がパートナー大学に滞在して教育交流や在外研究を行う。

WP3 院生共同指導：両大学の教員が、大学院生の研究プロジェクトの共同指導を行う。

WP4 合同カリキュラム開発と交換教育：質の高い研究に基づく国際的な教育プログラムを開発。

WP5 共同出版と年次ワークショップの開催：アンソロジー刊行プロジェクト

WP6 広報・成果普及とセミナー開催：公開イベントの開催などプロジェクト成果の発信

■2022 年度プロジェクトメンバー

《NTNU》

グロ・コースニス・クリステンセン（学際的文化研究学部長・教授：プロジェクトマネージャー）

ジェニファー・ブロンラ（准教授：プロジェクトコーディネーター）

ブリシラ・リングローズ（教授）

シリ・エイスレボ・ソレンセン（ジェンダー研究センター長・教授）

《IGS》

石井クンツ昌子（お茶の水女子大学理事・副学長：本学側代表）

戸谷陽子（IGS 所長／基幹研究院人文科学系教授）

小玉亮子（IGS 研究員／基幹研究院人間科学系教授）

吉原公美（リサーチ・アドミニストレーター：事務局）

松田デレク（国際教育センター講師／群馬大学講師）

仙波由加里（IGS 研究協力員）

佐野潤子（IGS 研究協力員／慶應義塾大学ファイナンシャル・ジェロントロジー研究センター特任講師）

■INTPART プロジェクト 2022 年度事業成果

新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していた研究者および大学院生の相互派遣を2月から再開することができた。オンラインのイベントも実施したほか、今後の教育プログラムのためのカリキュラム開発を目的として、ノルウェー高等教育・技能局 (HK-dir) によるバーチャル・エクスチェンジ／COIL パートナシップ・イニシアチブに応募し採択された。また、プロジェクト期間の再延長を申請し、2023 年 9 月までの変更が承認された。オンラインによる UTFORSK 学生フォーラムやウェビナーの開催もあり、パンデミックが継続する期間も、事業活動を充実させることができた。2023 年 4 月に本学で開催するワークショップの準備が進められている。

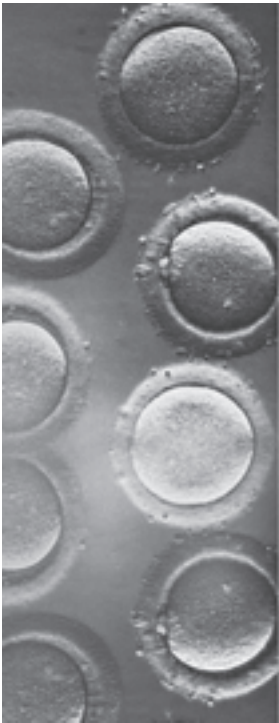
① UTFORSK オンライン学生フォーラム「Current topics in reproduction in Norway & Japan」

【日時】6 月 3 日 18:00～19:00 (日本)、11:00～12:00 (ノルウェー)

【発表者】本学学部生 3 名、NTNU 学部生 4 名

【モデレーター】黒岩薫 (本学博士前期課程ジェンダー社会科学専攻院生)

【コーディネーター】ジェニファー・ブロンラ (NTNU 准教授)、松田デレク (本学講師)



Current topics in reproduction in Norway & Japan
Ochanomizu University & NTNU student forum

3 June, 11:00 (Norway) / 18:00 (Japan)
Location: 11-563 or Teams

Organized by: Center for Gender Research (NTNU) & Ochanomizu University
UTFORSK project 'Teaching Gender Equality and Diversity in Norway and Japan'

11:00	Greetings (Jennifer Branlat)
11:05	Presentation by Ochanomizu students Anonymous birth in Japan Sasaki Konoha Takiguchi Shiho Kodama Mizuho
11:25	Comments and questions (Kaoru Kuroiwa, moderator) & NTNU students
11:35	Presentation by NTNU students New directions in reproduction and family life in Norway Lan La Katrine Minyi Fagerheim Azitta Baboli Taslimi Tonje Velle Utgård
11:45	Comments and questions (Kaoru Kuroiwa, moderator) & Ochanomizu students
11:55	Closing (Leika Aruga & Jennifer Branlat)

② The JSPS Alumni Club in Norway Webinar

‘Gender equality in Japan: creating opportunities for business and education cooperation’

【日時】11 月 29 日 17:00～18:00 (日本)、9:00～10:00 (ノルウェー)

【発表者】グロ・クリステンセン (NTNU 教授)、石井クンツ昌子 (本学理事・副学長) 他

【コーディネーター／司会】ジェニファー・ブロンラ (NTNU 准教授)

【対象】研究者、リサーチ・アドミニストレーター、高等教育機関、
日本の組織との連携に関心のある方・団体

③ ノルウェー高等教育・技能局（HK-dir）による国際共同プロジェクト調査対応

【日時】12月5日 15:00～16:00

【場所】お茶の水女子大学

【来訪者】Unni Mjelde Birkeland（HK-dir シニア・アドバイザー）

Herdis Kolle（HK-dir シニア・アドバイザー）

Marianne S. Berg（ノルウェー大使館科学技術・高等教育参事官）

【趣旨】INTPART と UTFORKS プロジェクトの内容、活動形態、期待される成果についての日本側の視点についてのインタビュー調査と、将来的なノルウェー・日本間の高等教育における研究教育分野での連携機会の情報提供。

④ バーチャル・エクスチェンジ／COIL パートナーシップ・イニシアチブ（2023年3～12月）

【プログラム内容】

- ・オンライン研修とノルウェーでのワークショップ：3月～6月
- ・メンターによる指導の提供：3月～12月
- ・主催組織によるキャンパス訪問（指導と支援）：9月～12月
- ・COIL（Collaborative Online International Learning）授業の実施：秋以降

【本学メンバー】

- 1) カリキュラム担当教員：小林誠 基幹研究院人間科学系 教授
- 2) COIL 技術担当教員：伊藤貴之 基幹研究院自然科学系 教授
- 3) 国際教育担当教員：萩原章子 国際教育センター 講師
- 4) プログラム実施支援者：吉原公美 リエゾン・URA センター リサーチ・アドミニストレーター

⑤ 本学の大学院生の在外研修

期間	氏名	学年	研究テーマ
2/3～2/17	小河映育花	D2	Are “Cohabitation” and “Douse” the same?: Values and Images for Unmarried Cohabitation among Young Females in Japan and Norway

⑥ NTNU 院生の来日研修

期間	氏名	学年	研究テーマ
3/22～6/16	Emilie Helen Vik	M2	Narratives of school experiences of LGBTQ+ students in Japan
	Kai Vårin Jektvik Rønning	M1	X-gender in Japan / people who identify outside of gender binary
	Marianne Hegge Sørensen	M1	Queerness and representation of gender in Japanese manga (boys love genre)

⑦ ノルウェーの研究者の日本学術振興会外国人特別研究員受入

期間	氏名	受入研究者	研究テーマ
3/31～3/30	france rose hartline	戸谷陽子	Trans experiences of belonging in Japan

3) 国内外招聘研究者一覧

■ 2022 年度 海外からの招聘研究者

イケモト・リサ・C (カリフォルニア大学・米)

IGS 国際シンポジウム「リプロダクティブ・ジャスティス：妊娠・中絶・再生産をめぐる社会正義を切り開く」(27 頁参照)

Jean Encinas-Franco (フィリピン大学・フィリピン)

IGS セミナー「The Marcos Return : What Does it Mean for the Philippines?」(30 頁参照)

Jan Robert Go (フィリピン大学・フィリピン)

IGS セミナー「The Marcos Return : What Does it Mean for the Philippines?」(30 頁参照)

Ella Syafputri Prihatini (ビナ・ヌサンタラ大学・インドネシア)

IGS セミナー「The Marcos Return : What Does it Mean for the Philippines?」(30 頁参照)

ルセッタ Y・L・カム (香港浸會大学・香港)

2022 年度 IGS 研究協力員 (93 頁参照)

IGS セミナー「クィアな出路か 新たなクィア／ホモノーマティヴィティか：中国大陸と香港のクィア女性たちのトランスナショナルな移動可能性 (モビリティ)」(37 頁参照)

マーシー・ディニウス (デポール大学准教授／フルブライト招聘教員・米)

IGS セミナー「19 世紀米国女性のインターセクショナルなアイデンティティとメディア理論：ソジャーナ・トゥルース女性会議講演『わたしは女ではないのか？』(1851) を例に」(33 頁参照)

■ 2022 年度 国内招聘研究者

岩本美砂子 (元三重大学) IGS 国際シンポジウム「リプロダクティブ・ジャスティス：妊娠・中絶・再生産をめぐる社会正義を切り開く」(27 頁参照)

高谷幸 (東京大学) IGS 国際シンポジウム「リプロダクティブ・ジャスティス：妊娠・中絶・再生産をめぐる社会正義を切り開く」(27 頁参照)

飯野由里子 (東京大学) IGS 国際シンポジウム「リプロダクティブ・ジャスティス：妊娠・中絶・再生産をめぐる社会正義を切り開く」(27 頁参照)

青山薫 (神戸大学) IGS セミナー「日本 (と世界) における性的マイノリティの政治」(35 頁参照)

片岡佑介 (一橋大学／立教大学ほか) IGS セミナー「『棄民』を記録する：今村昌平・ドキュメンタリー映画『からゆきさん』(1973) 再考」(39 頁参照)

村瀬敬子 (佛教大学) IGS セミナー「家電と暮らしのポリティクス」(41 頁参照)

岩島史 (京都大学) IGS セミナー「家電と暮らしのポリティクス」(41 頁参照)

武内佳代 (日本大学) IGS セミナー「クィアする現代日本文学：ケア・動物・語りとジェンダー」(43 頁参照)